

## 日本発ウィーン便り：大工事中

ウィーンでは今いろんなところで大工事中です。街の中もそうですが、鉄道関係の大工事、もっと詳しくは、Hauptbahnhof（ハウプトバーンホーフ：中央駅）の建設が進められています。意外なことに、ウィーンには「東(Ost)駅、西(West)駅<sup>1</sup>、南(Süd)駅、北(Nord)駅」と東西南北に駅はあるのですが、中央駅、は無いのです。で、今回、これまでのSüdbahnhof（南駅）のところにHauptbahnhofを作っています。Südbahnhofはすぐ近くにSchloss Belvedere（ベルヴェデーレ宮殿）もあり、中心部からも路面電車で15分くらいのところ。ベルヴェデーレ宮殿に行ったついでに、嬉しそうに工事現場を見に行ってきました。



ここに、駅だけではなく、合計5500戸の住居やオフィス、学校に公園など、一つの街を造ろうとしているので、工事現場も向こうが霞むくらい広大です（なんと109ヘクタール）。見学者も結構いました。（でも基礎工事中で、まだ動きが少ないので面白くはなかったです。）駅の完成というか使用開始予定が2013年、街全体の完成が2015年とのこと。まだ少し先ですね。もちろん、すぐお隣のベルヴェデーレ宮殿の景観を損なわないデザインになるようです。



工事中とはいえ、鉄道は動いているので、この線はあっちとか、こっちとか、いろんな標識だらけです。

<sup>1</sup> Westbahnhof（西駅）も2008年から大規模な改修が行われています。こちらは2011年の秋完成予定です。



仮設の Südbahnhof。前に停まっているのはオーストリアの救急車です。



ÖBB(Österreichische Bundesbahn:オーストリア連邦鉄道)の列車。  
発音表記が難しいですが、あえて書けば「エーベーベー」(Öは「オ」の口で「エ」と発音します)



他にも駅の大改修がはじまっています。オペラ座横の地下鉄の Karlsplatz (カールスプラッツ駅) も完全改修が始まりました。周りにオペラ座、美術館など観光名所も多く、複数の地下鉄路線や路面電車の乗換

駅でもある大きな駅（一日の乗降者数 20 万人）なのですが、いつの間にやらこの駅と隣接する、カール教会前の公園は（といってもこれはヨーロッパの都市の大きな駅や公園はどこも同じ問題を抱えているのですが）ウィーンの Drogen（ドロージェン：麻薬）取引の中心地となってしまっています。もうすでに、麻薬を締め出そう、という試みは数年前から始まっていて、いつもどこかに警察官の姿がありますし、駅のトイレの閉鎖、麻薬マフィアの一斉摘発など…。2013 年に新装オープン予定のこの駅では、アルコールの販売も禁止、麻薬、アルコール、売春、賭博なしの安全な駅を目指すそうです。（こんなことを書くと、ウィーン＝危険な街。と思われる方もあるかもしれませんが、実際は、街の中も交通機関も至って安全ですので安心して出かけください。駅などでは、明らかな酔っ払いや薬やってる？人を見かけることはありますが、見ればわかるので、避けて通れるか、近寄らないようにすれば良いのです。いきなりからまれたり、攻撃されたりすることは、まずありません。）



Karlsplatz 駅の旧駅舎

大工事中のウィーンでした。